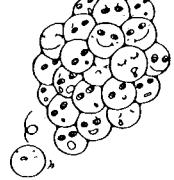


H.13.3.20

# 十客万来

第11号 譚ぶどう研究所

昨日も  
ブドウをお買上  
いたき、有難う。



沢山のお客様から、ブドウの注文をいただき、本当に有難う。美味かった、美味しいと数々のお便り、珍しかった、来年もよろしくと数々のお便り、やうやくAX-1お電話などを全国から、ただただ、感想や意見を伺うことも出来ました。心より御礼申し上げます。

嬉しかったことの一つに昨年の秋、岡山へおいでになられました。両陛下に桃太郎をどう（瀬戸ジャイアン）を召し上がって、いたいたいた事がござります。

両陛下が御宿泊になられました。ホテルの三ヶつの依頼で岡山の秋の味覚をとブドウ・梨・柿などおつけていました。

第一日の夕食時、シェフが呼ばれて、ふどうの由来を説明申り、すたと早速、連絡いたしました。兩陛下は大慶美咲、いと申されたとか。

育種を始めて三十五年、新しい品種として、やっと注目を浴びるようになり、瀬戸ジャイアン（桃太郎）が両陛下に激賞していただけて、永年の苦労が報われた感じがいたしました。

二十一世紀のふどうとして各方面から期待を集め始めた桃太郎がどう（瀬戸ジャイアン）を軸に私の作り出しで新し、ブドウのために益々努力を続けたいと思っております。どうぞ、がきももう一歩お願い申し上げます。

電話を受けて、ることをされ

・アラクスをチツクするのを忘れ

・メモーした紙を置き忘れ

・聞いた事を連絡するのを忘れ

・高令者と、う言葉に迷えな  
・自分を認識しまった。ご迷惑をおかけしたことお詫び申上げます。

## \*収穫後から春までの管理\*

### 施肥

収穫の終り、樹は翌年のために養分を貯蔵します。葉が落ちるまでの間が大切な期間なのです。そのため、葉の健康と秋根の発達を援助するため堆肥を与えます。

昨年は、椎茸の生え終わった廃木を沢山やりました。

落葉　十一月上旬、日照時間が短くなり、気温も下がると自然界の紅葉に呼応するようにブドウの葉も一斉に黄化（紅葉）し落葉します。そうすると翌年の春の春のスタートを芽が順調になります。

化学肥料を多く使っては、ブドウ園では、紅葉していく落葉が遅れます。さうすると次の年の落葉が遅れたり不揃いになります。

紅葉の季節には落葉を持ちてスケルチでさればいいなあと思します。品種によって様々の色に変化していくのが当たり前です。風で飛び散って落葉の始まりは大變ですが、集めて全部焼却します。

### 整枝剪定

葉が全部落ちると去年伸ばした枝の一部を切り縮めます。そのまま、そのままおくと次年に出て来る芽数が多くなり、一芽当たりの貯蔵養分が不足したりして良い実をならせるために様々な障害が生じます。

ぶどう棚の一定の面積にどのような枝を何本育てるかを考えて剪定します。今年は二月の五日に剪定を終えました。

枝の切り方でぶどうの味が変わります。我が家では、より美味——かどりを目標として長梢剪定（自然型整枝）を行っています。

### 病気や害虫の防除

ブドウの樹の皮は、松の木と同様に毎年

新しく皮が生まれ古い皮は浮き上がります。その皮の裏側に害虫の卵や蛹や成虫など潜んで越冬します。

有機減農薬栽培をずっと続けているため、去年は害虫の被害が増えて困りました。

そ、そ、そ、一月から三月にかけて成木の皮剥ぎをしました。沢山の越冬害虫を発見し退治しました。そして石灰硫黄合剤を散布して越冬病源の消毒もしました。

今年は今まで以上に減農薬栽培が容易になりますと期待しています。

### 有機無農薬について

新たな法で基準が定められました。私達の力量では残念ながら合格ラインを通過することは無理でしょう。

私の育種して登録をとった桃太郎はどうは皮のまま食べれるアドウです。私自身が全く安心して食べるためにも農薬のことを常に心に留め早くから減農薬だと努力してきました。どうぞ桃太郎平成元年からその努力は始まります。

- 肥料は堆肥と酵素・微生物のみ
- 農薬は普通使用される回数の1/3以下に抑える

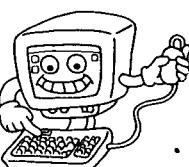
ですから我が家のがとうは堆肥減農薬栽培と言ふかえれば違法にならなかつてしょうか。悩みの多いこの頃です。

実体験のな人々によつて机上で生まれた法などの多くこの頃です。

一番のことは消費者みなさまの現地研修会を開き栽培の実態を見ていただき作業等を経験してからと納得して下さるところとおもいます。

店頭に並べられてくる農産物の何と美しさ。無農薬では到底作れないのでと分かっていつも見た目のきれいな方へ手が伸びます。

外国産の物ほど農薬の量が心配されます。それでも買つてしまふます。



珍しいからでしょうか  
欲しからでしょか  
矛盾だらけですね。

## 農業は大丈夫でしょうか

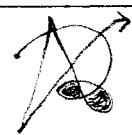
最近の新聞やテレビ等で「存続の危機」に  
外国の農産物が雪崩のように日本の市場  
に入っています。

そのため高齢者で支えている農家の存続が  
脅かされ離農・廃農する農家が増えて  
いる現状は心配でなりません。

果物では、オレンジ・リンゴ・サクランボが打撃  
を受けたのは古い話です。ふどうもそのうち  
攻撃を受けるでしょう。  
どうすればこうした現状を打破できるの  
でしょうか。

我が家で月一回開いている果樹栽培を渠  
しむ会<sup>1</sup>では、今年若手人達が何組か入会  
され新しくふどう作りに挑戦したりと  
計画が進んでいます。嬉しくことですが  
苦勞を覚悟で……と言わざるを得ない  
面もあります。

こうした人達の夢を壊さないためにも



花澤オリジナルのふどうの品種が  
役立つことを願って努力を続けて  
参ります。

比様のよう温かい理解とご支援を賜わ  
りますようより一くお願ひ申上ります。

## 今ハウスの中で 新し、ふどうの芽が

マスカットの香りのある穎度をアソブを作り  
たいと思ひマスカットと瀬戸内シャインを交配。  
三〇余りの種をどうあつた二月の初めに  
種をまきました。目下新し生命令作が  
続々発芽してます。三年から五年計してう  
実をつけます。よぶどうがどうか十年ぐら  
で選抜淘汰が終わります  
もし目的に叶うものがれば二十年後に  
新品種として比様のお許に届く予  
定です。どうぞお楽しみに！

「時がぬ種は生えぬ」の諺どおりです。